



取組事例

(所定外労働削減・年休取得促進・仕事と家庭の両立・多様な正社員・朝型の働き方・テレワーク)

企業名：東ソー・スペシヤリティマテリアル(株)	所在地：山形市蔵王松ヶ丘 2-1-6
社員数：50名	業種：非鉄金属精錬業



1 取組の目的

従業員一人ひとりが生き生きと安心して働くことができ、かつ、仕事と家庭の両立ができるような職場環境、制度および会社風土を作ることが目的としている。

2 取組の概要

○過重労働による健康障害防止の取組

- ①毎月開催している安全衛生委員会にて時間外労働を議題として取り上げ、労働時間削減への取組強化につなげている。
- ②産業医との連携
 - ・1ヶ月の時間外労働が45時間を超えた従業員に対して産業医による面接指導を行っている。
 - ・産業医からの健康診断の事後指導を実施し、従業員一人ひとりに対する細やかな指導のほか、従業員の希望により仕事面や職場環境、家族の体調等についても相談に応じている。

○時間外労働の削減、申請の厳格化

- ①「やまがたイクボス同盟」の統一行動（定時退社）への参加および職場ごとにノー残業デーを設定している。
- ②時間外労働となる場合には、事前に所属長へ申請し、実績の承認が必要となるよう手続きを厳格化している。
- ③個人に会社から支給しているPCのログオン・ログオフ時間と勤務表で時間外労働申請された時間の乖離を確認している。

○年次有給休暇の取得促進の取組

- ①上司が年休取得を促すなど、休みやすい風土づくり
- ②計画的付与制度による年次有給休暇の一斉付与（年3日）
- ③半日単位での取得が可能となる制度の導入

○仕事と家庭の両立支援の取組

①出産休暇

- ・配偶者の出産時には有給の出産休暇付与（2日）

②介護休業

- ・通算365日利用可能

○業務効率化、生産性向上の取組

①改善提案制度活用：個人又はグループの提案にそれぞれ報奨金を支給

②自己啓発支援制度：資格取得費用や研修への参加費用等の全額補填

③キャリアステイト面談：社員の能力開発、キャリア意識の向上を目的とし、半期毎に上司との面談を実施

④登用制度の導入：有期社員、派遣社員を対象に一定の条件を満たし、本人が希望する場合は選考試験を経て転換および採用

○職場環境改善の取組

①労働組合との経営協議会の定期開催（月1回）

②安全パトロール（月1回）

3 取組みの効果と現状

○年次有給休暇の平均取得率 : 84% (2018年度)

○1人当たりの平均所定外労働時間数 : 7.1時間 (2018年度)

○有期社員、派遣社員の転換および採用実績 : 4人 (2018年度)

○育児・介護を理由とした退職者 : 0人

4 今後の取組

○年休取得の少ない従業員を対象とした注意喚起

○男性従業員が育児休暇を取得することができる職場環境の整備

○勤怠管理システムの導入の検討

○勤務間インターバルの検討